

## 大阪府知事選挙・大阪市長選挙についての見解

本会は、大阪カジノの誘致の中止を求めることを目的にした市民団体です。その立場から、大阪府知事選挙・大阪市長選挙について、見解をまとめました。

知事選挙候補者の吉村洋文氏と市長選挙候補の松井一郎氏は、これまで市長・府知事としてカジノを含むIR（統合型リゾート）を大阪万博の前年に開設させるべく、急ピッチで誘致作業を進めてきました。また両氏は、「将来、ギャンブルにのめり込まないために」というリーフレットを税金で作りました。そこには、ギャンブルが刑法に違反する犯罪であることに触れずに、「ギャンブルは、生活に問題が生じないよう金額と時間の限度を決めて、その範囲内で楽しむ娯楽です」と紹介しています。これを高校生と支援学校生に配布しました。ギャンブルを肯定する言語道断の行為です。

その吉村洋文氏は「統合型リゾート（IR）の誘致」をmanifestoに掲げています。松井氏はマスコミが主催した候補者討論の中で、「カジノのないIRなど聞いたことがない」とカジノ推進を公言しています。吉村氏が知事に、松井氏が大阪市長になれば、大阪でのカジノ誘致が加速します。

一方、大阪都に終止符を掲げて府知事選挙に立候補した小西禎一氏は、manifestoの中で「幅広い府民の意見を踏まえたIRの推進」と書いています。カジノに対する姿勢は明確ではありませんが、記者会見の中で小西氏は、「ギャンブル依存症などに対する懸念の声に、しっかりと理解を得る努力をする必要がある」、「開業時期ありきではない」と答えています。また市長選挙に立候補した柳本顕氏は「カジノの有無も含めて考える」と答えています。このように小西氏が知事に、柳本氏が市長になれば、カジノ問題に関する府民、市民との対話が期待できます。すなわち今回の選挙結果によって、カジノ誘致にブレーキがかかり、減速することが期待されます。もちろん、カジノ誘致は減速が解決ではありません。中止が必要です。そのため、本会は選挙後も、新しい大阪府知事と大阪市長にカジノ誘致作業の中止を求め、活動を続けていきます。

同時に行われています大阪府議会議員選挙、大阪市議会議員選挙では、カジノ反対議員が増え、カジノ推進議員が激減することを願っています。

会員と本会関係者の皆さんに、以上の見解にご理解いただき、ご協力くださいますよう心から願います。

2019年3月29日 大阪カジノに反対する市民の会幹事会

## 「大阪の経済・くらし・文化を守る市民大集合」開催レポート



### カジノに反対する団体勢ぞろい

舞台上手より、あかんカジノ女性アピール代表 大垣さなゑ、大阪いちょうの会代表幹事 堀 泰夫、大阪を知り・考える市民の会代表 中野雅司、カジノに反対する大阪連絡会 藪田 ゆきえ、カジノ問題を考える大阪ネットワーク代表 桜田照雄、ギャンブルオンブズマン 弁護士 井上善雄、市民のための行政を求める会代表 山村 敬、どないする大阪の未来ネット代表 馬場徳男(敬称略)

2019年3月23日午後、豊中市アクア文化ホールで大阪カジノに反対する市民の会が、「カジノあかん! ギャンブルは危険」をテーマに「大阪の経済・くらし・文化を守る市民大集合」を呼びかけた講演会を開催し、約350人の市民が参加しました。

集会はギャンブル依存症被害者の訴えからはじまりました。集会には大阪カジノに反対している7つの市民団体の代表が勢ぞろいし、カジノ反対の連帯挨拶を述べました。

カジノに反対する政党からは、5つの政党が参加し、出席した20名の党代表や議員・元議員・予定候補がカジノ反対で頑張ることを1分スピーチしました。

カジノに反対する寸劇があったかファミリーによって上演されました。

後半の講演は落語家笑福亭竹林さんの「落語の世界では強盗より博打の方が悪い」という小話で始まり、メインの講演では、国学院大学名誉教授の横山實氏が「国際カジノ企業の絵大阪進出の意図」の演題、と大谷大学教授の滝口直子氏が「カジノできたら誰が恩恵を受けるの?誰がギャンブル害を被るの?」の演題で講演し、スロットマシンなどの最新のカジノ機器はITを使って、人をギャンブル依存症に罹らせ、お金を最大限に吸い上げるように開発されていると講演しました。

最後に主催者から、府知事・市長に対する不適切行政に対する提訴や監査請求、公開質問等の運動経緯や今後の署名活動などの提起があり、大阪カジノ反対運動を通して地方選を維新政治にストップをかける好機として戦い抜こうとの竹林師匠の呼びかけで幕を閉じました。

集会では参加者から83,142円のカンパをいただきました。会員も6人増え、300人にあと1歩になりました。ご協力ありがとうございました。



ギャンブルが生活だけでなく、人の心をむしばんでいく姿を判りやすく表現しカジノ反対を訴えた「あったかファミリー」の寸劇。

軽妙な小話と、舌鋒鋭い批判と笑いで維新政治とカジノ万博がいかに大阪をダメにするかを語った笑福亭竹林さん。



「国際カジノ企業の大阪進出の意図」と題して、国際カジノ企業の実態と、IT化された現代のマシニングームの実態を伝え、カジノ産業が狙っているのは日本人であり、地域社会であることを強調された横山実 國學院大學名誉教授。

ギャンブル依存症と、ギャンブルがもたらす不幸な結末を人と人の関係や絆の崩壊から説き、ギャンブル害で苦しむ人の大半は、ギャンブルをしない人たちであることを訴求。税収も雇用も期待できないカジノは害でしかないことを明らかにされた滝口直子 大谷大学教授。



## 大阪カジノに反対する市民の会からのお知らせとお願い

### ①カンパと入会金納入のお願い

会の活動には印刷代、交通費、講師謝礼などかなりの資金が必要です。入会金1000円だけでは足りません。

そこで会に寄付をお願いします。入会金がまだの方は、下記のゆうちょ銀行振替口座に1,000円を振り込んでください。恐れ入りますが、振込手数料も負担してください。

口座記号番号 00920-8-323421

口座名称(漢字) 大阪カジノに反対する市民の会

口座名称(カナ)

オオサカカジノニハンタイスルシミンノカイ  
他銀行から振込む際は下記を指定してください。

店名(店番)	預金種目	口座番号
〇九九店(099)	当座	0323421

②ホームページやフェイスブックの管理・更新の協力スタッフを募集しています。

### ③ニュースレター配布にご協力を

このニュースレターは、メール、ファックス、郵便、手配りなど、出来るだけ少ない経費で配布する予定です。そこで、パソコンメールを利用されている方はアドレスをお知らせください。ご近所の会員に手配りしていただける方は、ご連絡ください。会報編集委員も募集しています。

### ④入会者の勧誘にご協力を

「カジノ反対」の声を強く、大きくするために1,000人以上を目標に会員を募集しています。入会金1000円必要ですが、会費はありません。

会務報告(2月12日現在)

会員 275名

収入 357,516円

支出 209,406円

残高 148,108円